

特定施設設置届出書について（様式第 6）

下水道法に規定する特定施設を新たに設置される場合の届出書です。

特定施設は、届出書が受理されてから 60 日後でなければ、工事に着手することができません。設置される方に特別の事情があって工事の着手を急がれる場合はご連絡ください。

届出先

〒601-8116

京都市南区上鳥羽鉾立町 1 1 番地 3

京都市上下水道局下水道部施設課水質指導担当

（京都市上下水道局総合庁舎 3 階）

電話 075-672-7829

E-Mail: g.suishitsushido@suido.city.kyoto.lg.jp

参考

特定施設の設置等の届出

特定施設を設置する工場・事業場は、下水道を使用する場合、次のような届出をして下さい。

届出を要する場合	届 出 の 種 類	届 出 の 期 限
特定施設を新しく設置しようとする場合	特 定 施 設 設 置 届	設置の 60 日前まで
使用している施設が新たに特定施設に指定された場合	特 定 施 設 使 用 届	特定施設に指定された日から 30 日以内
特定施設のある工場・事業場が新たに下水道を使用する場合		下水道を使用することになった日から 30 日以内
特定施設の届出事業場が次の届出内容を変更しようとする場合 ○特定施設の構造 ○特定施設の使用の方法 ○特定施設から排出される汚水の処理の方法 ○下水の量及び水質、用水及び排水の系統	特 定 施 設 の 構 造 等 変 更 届	変更の 60 日前まで
氏名・所在地・名称等に変更があった場合	氏 名 変 更 等 届	変更の日から 30 日以内
特定施設の使用を廃止した場合	特 定 施 設 使 用 廃 止 届	廃止の日から 30 日以内
届出をした者の地位を承継した場合	承 継 届	承継の日から 30 日以内
(注) 特定施設設置届及び特定施設の構造等の変更届については、この届出が受理された日から 60 日後でなければ工事にかけられません。何らかの理由で工事を急がれる場合はご連絡下さい。		

除害施設の設置等の届出

水質基準に適合させるために除害施設等の污水处理施設を新設、増設又は改築する場合、若しくは必要な水質改善の措置をしようとする場合は、事前に届出をして下さい。

記載例

様式第6

特定施設設置届出書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

(あて先)

京都市公営企業管理者上下水道局長

(申請者)

住 所 京都市△△区◎◎☆☆町〇〇

ふりがな さんかくさんかく株式会社まるまるけんきゅうしょ
名 称 △△株式会社〇〇研究所 電話番号 075-000-0000

ふりがな 代表取締役社長 すいしつ さぶろう
代表者氏名 水質 三郎

下水道法第12条の3第1項の規定により、特定施設の設置について、
次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の 名 称	△△株式会社 〇〇研究所	※ 整 理 番 号	
工場又は事業場の 所 在 地	京都市△△区◎◎☆☆町〇〇	※受理年月日	年 月 日
特 定 施 設 の 種 類	71号の2-イ 洗浄施設	※ 施 設 番 号	
△ 特定施設の構造	別紙のとおり	※ 審 査 結 果	
△ 特定施設の 使 用 の 方 法	別紙のとおり	※ 備 考	
△ 汚水の処理の方法	別紙のとおり		
△ 下水の量及び水質	別紙のとおり		
△ 用水及び排水の系統	別紙のとおり		

- 備考 1. △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
2. ※印の欄には、記載しないこと。
3. 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格A4とすること。

別紙様式 1

特 定 施 設 の 構 造

施設名 項目	71 号の 2-イ 洗浄施設 〇〇□□室 (器具類の洗浄)	71 号の 2-イ 洗浄施設 □□△△室 (器具類の洗浄)	71 号の 2-イ 洗浄施設 〇〇◎◎室 (器具類の洗浄)
(1)型 式	流し台	流し台	流し台
(2)構 造	ステンレス製	ステンレス製	ステンレス製
(3)主 要 寸 法	W D H 0000×000×0000 mm	W D H 0000×000×0000 mm	W D H 0000×000×0000 mm
(4)能 力	1 日で器具類〇〇個洗浄	1 日で器具類〇〇個洗浄	1 日で器具類〇〇個洗浄
(5)主要機械又は主要装置の配置	別図の通り	別図の通り	別図の通り
(6)工 事 着 手 予 定 年 月 日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	令和〇〇年〇〇月〇〇日
(7)工 事 完 成 予 定 年 月 日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	令和〇〇年〇〇月〇〇日
(8)使 用 開 始 予 定 年 月 日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	令和〇〇年〇〇月〇〇日
(9)その他特定施設の構造について参考となるべき事項			

特定施設の使用の方法

施設名 項目	71 号の 2－イ 洗浄施設 〇〇□□室 (器具類の洗浄)	71 号の 2－イ 洗浄施設 □□△△室 (器具類の洗浄)	71 号の 2－イ 洗浄施設 〇〇〇〇室 (器具類の洗浄)
(1)設 置 場 所	別図の通り	別図の通り	別図の通り
(2)特定施設を含む操業系統	別図の通り	別図の通り	別図の通り
(3)使 用 時 間	9時30分から18時00分まで 連続(時間ごと) 7時間30分/日	9時30分から18時00分まで 連続(時間ごと) 7時間30分/日	9時30分から18時00分まで 連続(時間ごと) 7時間30分/日
(4)使用の季節的変動の概要	なし	なし	なし
(5) 原材料の種類、使用方法、 及び使用量(1日当たり)	別紙の通り	別紙の通り	固形せっけん(手洗い用) 4個/日 液体せっけん(器具洗浄用) 〇ℓ /月
(6)使用時の汚水量及び水質	洗浄その他雑用水のみの排出で、 その他使用薬品類の廃液は別容器 貯蔵とし、排出しない	洗浄その他雑用水のみの排出で、 その他使用薬品類の廃液は別容器 貯蔵とし、排出しない	洗浄その他雑用水のみの排出で、 その他使用薬品類の廃液は別容器 貯蔵とし、排出しない
(7)その他特定施設の使用の 方法について参考となる べき事項			

備考 1.「使用時の汚水量及び水質」については、別紙に汚水の水質の通常値及び最大値並びに当該汚水の通常量及び最大量を記載すること。

別紙

原材料の種類、使用方法及び使用量

使用する薬品類の名称などを記入してください。

使用後の薬品は、別途容器に保管し別途処理依頼する。

汚 水 の 処 理 の 方 法

項目	処理施設名	
(1)処 理 施 設 の 設 置 場 所		
(2)着 工 予 定 年 月 日		
(3)完 成 予 定 年 月 日		
(4)使 用 開 始 予 定 年 月 日		
(5)処 理 施 設 の 種 類 、 型 式		
(6)処 理 施 設 の 能 力		
(7)処理施設の構造、主要寸法、処理方式		
(8)汚 水 の 処 理 の 系 統		
(9)汚水の集水及び処理施設までの導水方法		
(10)処理施設の使用時間及びその季節的変動の概要		
(11)汚水の処理に要する消耗資材の1日当りの用途別使用量		
(12)処 理 前 後 の 汚 水 量 及 び 水 質		
(13)処理残さの種類及び1月間の生成量並びにその処理方法		
(14)排除する方法（排水口の位置、数、排出先）		
(15)その他処理の方法について参考となるべき事項	処理施設なし、別途産業廃棄物処理を依頼	

備考 1. 「処理前後の汚水量及び水質」については別紙に、処理前及び処理後の汚水の水質の通常の値及び最大の値並びに当該汚水の通常の量及び最大の量を記載すること。

下水の量及び水質並びに用途別用水量

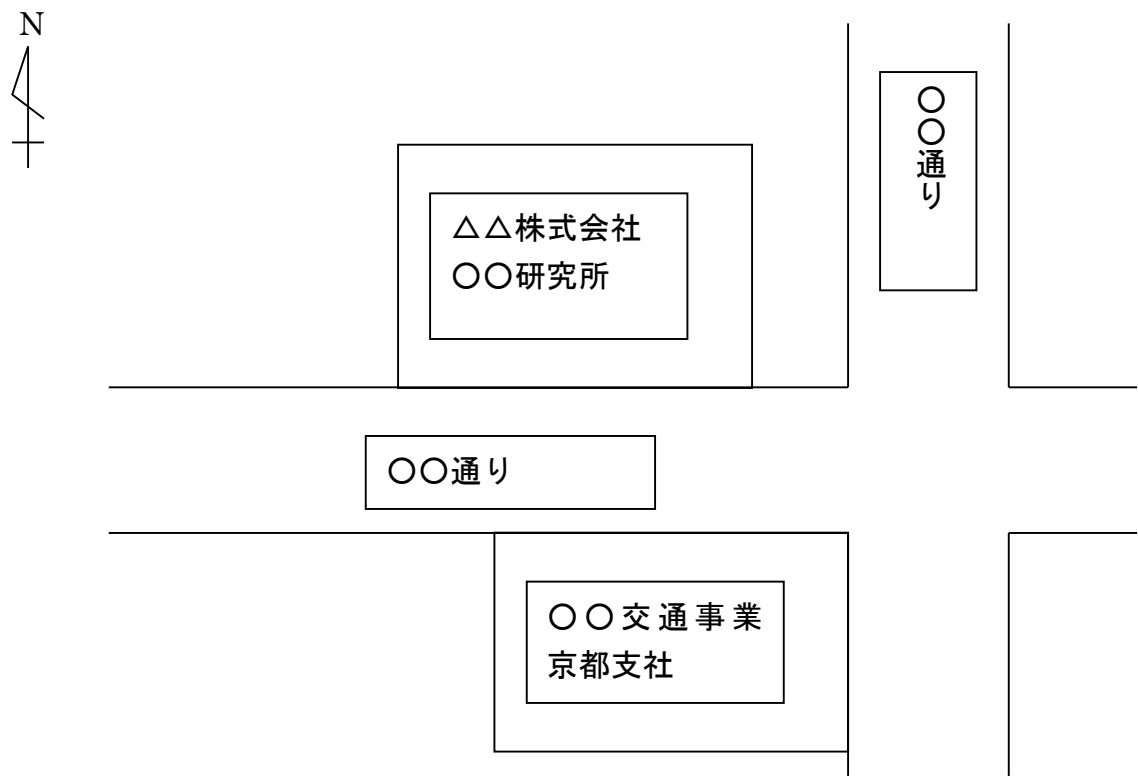
排出口	下水の量 (排水量)	水 質 項 目 (mg/l)										その他、下水の量及び水質について参考となるべき事項
		p H	B O D	S S	H g	P h e						
1	通常 ○ $\text{m}^3/\text{日}$	5.1以上 8.9以下	600以下	600以下	0.005 未満	1未満						すべて計画値
	最大 △ $\text{m}^3/\text{日}$	5.1以上 8.9以下	600以下	600以下	0.005 未満	1未満						

用 水 の 用 途	使 用 量
洗浄用	◎ $\text{m}^3/\text{日}$
その他雑用水	□

添付図面等

1. 工場全体図
2. 主要機械又は主要装置の配置図面
3. 特定施設を含む操業系統図
4. 処理施設の構造、主要寸法、処理方式に関する処理装置の仕様、処理浄化工程の概要の説明書及び処理施設の構造図
5. 汚水の処理の系統図面
6. 特定施設から汚水処理施設に至る導水路図面
7. 用水及び排水の系統図面
8. 下水の水質管理責任者及び処理施設の運転管理責任者の氏名

付近見取図



工場全体図
（主要機械又は主要装置図
用水及び排水の系統図）

別 紙

建物の配置概略図などを記載します。建築図面を使用していただいても結構です。

建物内部の詳細図などを記載します。衛生設備の図面を使用していただいても結構です。

特定施設を含む操業系統図（製造工程）

業務上の操業内容の概略とその中での特定施設の位置を明示してください。

（注）この紙面に記入できない場合は、別の用紙に記入していただいても結構です。

工 場 ・ 事 業 場 調 査 票

届出番号	*			流入処理場 (処理区)	*		
事業場名	△△株式会社京都研究所			T E L	075-000-0000		
代表者名	代表取締役社長 水質 三郎			担当者名	下水 太郎 (工事完了まで)		
業 種	具体的に記入してください						
資 本 金	〇〇〇〇万円	従 業 員 数	32 名	敷地面積	〇〇〇〇m ²		
操 業 時 間	午前 9 時 3 0 分 ~ 午後 6 時 1 5 分 (7時間30分)						
稼働日数	25日/月 [工場、事業場の休業日 土曜・日曜・祝日]			検針区使用者コード	000-00000		
用 水 内 訳	上 水 道	〇m ³ /日	排 水 状 況	排水箇所数	1 箇所	特 定 施 設 の 種 類 (号番号および 施設の名称)	71号の2-イ 洗浄施設
	地 下 水 (井戸水)	-m ³ /日		除 害 施 設 排 水 量	-m ³ /日		
	そ の 他 (河川水等)	-m ³ /日		その他事業場 排 水 量	〇m ³ /日		
	合 計 水 量	〇m ³ /日		生活雑排水量	〇m ³ /日		
	日最大水量	△m ³ /日		排水量(合計)	〇m ³ /日		
生 産 内 容			使用薬品及び原材料の内訳		主 要 生 産 品 の 内 訳		
研究業務			種 類	使 用 量	主要生産品目(種類)	生 産 量	
			別紙参照			具体的に 記入できない場合は 概要を 記入してください。	

注) *印の欄は記入不要